



JAあいち豊田 第5回

農業川柳

結果発表

募集
テーマ

食や農への想い

応募総数
270句

たくさんのご応募ありがとうございました。
受賞された皆さん、おめでとうございます。
入賞作品はJAホームページ(2月1日より)
でも紹介しています。

佳作

よく見れば 田んぼの中に 孫の顔
豊田市加納町 羽根田武男さん

ふる里の 自然を守る 農作業
豊田市高岡町 高野敏夫さん

稲刈りのご褒美まずは 握り飯
豊田市加納町 ペンネーム 炊き立てご飯さん

ミネアサヒ 味覚のよさは 山の水
豊田市石橋町 河合隆さん

早起きし 庭の野菜の きげん見る
豊田市広さ町 ペンネーム ななちゃんさん

義父母から 引き継ぐ嫁も 農一途
豊田市小原町 二村由美子さん

認知症 グリーンボイスで 助けられ
みよし市黒島いすみ 鈴木通子さん

先輩の 教えを胸にくわを入れ
豊田市東里 ペンネーム ナツツ中島さん

いびつでも 味は抜群 自信作
豊田市山之手 ペンネーム トキヤンさん

老いてなお 夢広がって 畑しごと
豊田市平山町 ペンネーム まゆゆさん

バケツ稲 僕の田んぼも 豊作だ
豊田市羽和町 ペンネーム アフロさん

同じ種 土と手入れで 顔変わる
豊田市豊町 清水照代さん

菜園で いきうところ 土づくり
豊田市豊町 ペンネーム ヤセもんさん

後を継ぐ 父の日記を 知恵として
豊田市四ツ松町 大山邦江さん

お疲れの 声かけ嬉し 畑仕事
豊田市山之手 稲垣義久さん

総評

今年の入選作品はバラエティに富んでいました。農家の方々の農業に取り組む情熱や意欲の表れた句や若い農家の意欲的な句が多かったけれど、高齢の方々のこれまでの実績に対する誇りや自信に敬意を表したい。私が特に好きなのは家族愛。夫婦間の労いや孫に対する優しい思いを詠んだ句もあった。女性の句が多いのも特徴でした。更に嬉しかったのは、13歳のお子さんの句が佳作入選したこと。なお、入選には至らなかったけれど、消費者の立場から詠んだ句も多数ありました。農業川柳の広がりが見られて嬉しく思います。これからも色々な視点から、興味ある光景や様子を首眼して楽しい句を作り上げてください。



審査員 重徳 光州 先生

1939年生まれ、豊田市今町在住。
全日本川柳協会主催の国民文化祭で
選者を務める。
現在、豊田市ほうなん川柳講座。

先生の講評

昨今、休耕田が増えてきたが、食料安
保と言われる如く、食料の自給率は国の
存亡に関わる問題です。加えて、田畑の
保水力は災害防止にも繋がります。何よ
り伝来の財産を荒れたままにしてはご先
祖様に申し訳けが立つかまい。若者達の意
欲と力に大いに期待しましょう。

荒れ果てた
田畑にせぬと
若農夫

豊田市汐見町
高見悦子さん



優秀賞

先生の講評

夫婦で農作業をしての帰途。夕飯の
おかずにと抜いた野菜を抱きかかえて
妻は助手席で居眠りをしている。未だ
慣れない農作業に疲れたのに相違な
い。帰宅後も夕飯の支度をしてくれる
妻をいたわるようにそっと手を添える
優しい夫なのです。

抜き菜抱き
助手席の妻
舟を漕ぐ

豊田市若宮町
小野田晋也さん



優秀賞

先生の講評

米作りには長年の経験と知識の裏付けを必要
とします。作者の言う「勘」はそうした実績に
基づくものなのです。AIの普及や新しい技術
や機械の導入もありうるけれど、長年培われた
「勘」は得難いものだとしてベテラン農家は胸を張
る。その意気こそ瑞穂の国の誇りなのです。

うまい米
まだ若者に
負けぬ勘

豊田市高上
ペンネーム さとぴーさん

最優秀賞